

キューポラスグリーン®

Golf Course



多孔質でミネラル分を
豊かに含んだ土壌改良材!

ミネラル・空気が豊富な“生きた土壌”に!!

① 土壌ミネラル量向上

緩効性のく溶性ケイ酸・カルシウム・
マグネシウム・マンガン等を含む。

② 土壌固結防止

踏圧に対する抵抗性が高く、
固結の原因物質は含まれない。

4の特長

③ 目土(砂)の役目

pHが中性。
無機の硬質砂粒状の土壌改良材。

④ 土壌物理性向上

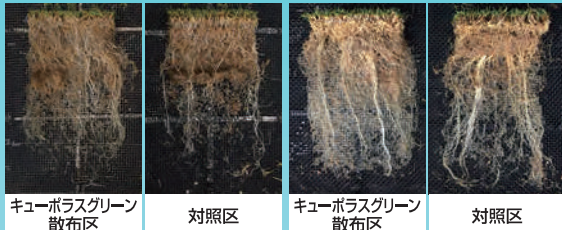
土壌三相を改善し、
特に通気性や透水性を向上。



施用効果検証試験①(根圏状況)

1回目調査報告(2018.3.28)

2回目調査報告(2018.6.25)



■試験場所：千葉県Aゴルフ場
■供試芝種：ペントグラス
■供試薬剤：キューポラスグリーン細粒

■散布量：1回目 2017年10月 30g/m²
2回目 2018年6月 30g/m²

散布区の細根量が対照区と比較して多く発生している傾向がみられる

施用効果検証試験②(根圏状況)

1回目調査報告(2018.5.21)

2回目調査報告(2018.7.25)

キューポラスグリーン 散布区		対照区		キューポラスグリーン 散布区		対照区	
芽数計測(本数/㎡)		※2箇所の平均値		芽数計測(本数/㎡)		※2箇所の平均値	
場 所	散布区	対照区		場 所	散布区	対照区	
PG		No.10		PG		No.10	
芽 数	17.0	13.0		芽 数	19.0	5.5	

■試験場所：神奈川県Bゴルフ場
■供試芝種：コウライ
■供試薬剤：キューポラスグリーン細粒

■散布量：1回目 2017年10月 50g/m²
2回目 2018年6月 50g/m²

根圏状況は、散布区は根もしっかりと抜き取れたが対照区では根が付いてこなかった

芝・緑地用

土壌改良材



レインボー薬品株式会社

キューポラスグリーン®

荷姿：20kgポリ袋

■種類と粒度

種類	1号	3号（生第91831号 鈣さいけい酸質肥料）	細粒（生第91831号 鈣さいけい酸質肥料）
粒度	2.5～0.3mm	1.5～0.3mm	1.0～0.3mm

■成分分析例

ケイ酸 (SiO ₂)	アルミニウム (Al ₂ O ₃)	鉄 (Fe ₂ O ₃)	マンガン (MnO)	マグネシウム (MgO)	カルシウム (CaO)	ナトリウム (Na ₂ O)	カリウム (K ₂ O)	リン酸 (P ₂ O ₅)	銅 (Cu)	亜鉛 (Zn)	イオウ (S)
45.23%	12.50%	1.465%	2.093%	2.620%	34.84%	0.2363%	0.1609%	0.2089%	7.8ppm	16.1ppm	3,980ppm

※pHも中性で、芝土壌のpHを高くすることはありません。

■使用方法

使用量の 目安	使用場面	使用粒	m ² 当り散布量	備考 ベントグリーン コウライグリーン
	更新時	3号	100～200g	
	使用中グリーン	3号 or 細粒	50～100g	
	造成・改造時	1号	床土容量の1～3% [10cm厚：1～3kg/m ² 15cm厚：1.5～4.5kg/m ²]	

■施用例

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ベント グリーン	更新時		100～200g/m ²							100～200g/m ²			
	使用時					50～100g/m ²						100g/m ²	
コウライ グリーン	更新時			100～200g/m ²									
	使用時						50～100g/m ²			50～100g/m ²			100g/m ²

散布 乾燥品のため、どの機械でも能率的に散布できます。

使用上の注意 熱伝導度が高いので、気温が30℃を超える時期には施用しないでください。

■キューポラスグリーンの有効性と各種土壌改良材の粒子そのものでの可溶性ケイ酸量の比較

イネ科植物である芝草はケイ酸を積極的に吸収します。ケイ酸は根によって吸収され、蒸散によって葉身に運ばれ、沈積してゆき、効果を現します。ところが水稻と違い、芝草の場合は常に刈り込まれ、せっかく沈積したケイ酸も同時に刈り取られるので、常時ケイ酸を補給する必要があります。キューポラスグリーンを使用することにより、ケイ酸を常に土壌に存在させておけるので、芝草は常にケイ酸を吸収することができます。キューポラスグリーンは他の土壌改良材と比較して、100倍以上の可溶性ケイ酸量を有しています。

試料	キューポラス グリーン	粘土焼成粒材	自然砂	珪藻土焼成粒材	ゼオライト (クリノプロクロライト)	ゼオライト (モルデナイト)	ボラ土
可溶性ケイ酸	26.70	0.26	0.02	0.05	0.12	0.11	0.25

※可溶性ケイ酸：0.5M塩酸に溶解するケイ酸（SiO₂ g/100g）

■キューポラスグリーンおよびETCの、他土壌改良材との比較

資材名	キューポラスグリーン	ETC	ゼオライト	パーミキュライト	パーライト	珪藻土焼成粒材
形状	多孔質、砂粒状、硬質 pH：中性 色：灰白色 仮比重1.0～1.2	濃緑色多孔質、砂粒状、硬質 pH：4.0～6.0 仮比重1.1～1.2	多孔質 産地により軟質～硬質の 多種あり、粒状～粉状ま での製品がある。	雲母を主成分とする蛭石を高温加 熱風化処理したもの。その隙間に 水や養分を物理的に吸着保持する。 軽量。	主に白色顆粒状で孔 隙率が大い。軽量。 pH：中性 仮比重0.23	孔隙率が大い。 軽量。 pH：6.0～7.0 仮比重0.5～0.6
特長	①多くのミネラル分を含有し、その成分は 可溶性で微量づつ、ゆっくりと長く溶出 する。土壌にミネラルを補給できる。 ②酸性雨に対する土壌pH緩衝性が向上す る。 ③多孔質で硬質の砂粒状品なので、土壌 の透水性・通気性・保水性などが向上する。 ④芝目土としての役割もする。 ⑤遠赤外線放射率が高い。	左記にプラスして ①土壌微生物を活性化させる。 ②早期の発根を促進させる。 ③ミネラルの可溶性を向上 させる。 キューポラスグリーンの特 性に土壌微生物の増加機 能をプラスした資材である。	塩基置換容量(CEC)が高 く、アンモニア、マグネシ ウム、カルシウムなどのプ ラスイオン保肥力を高める 効果が大い。 軟質は崩壊性がある。硬質 でも数年たつと崩れてくる。 含有するミネラルはほとん どが不溶性。	保水性に優れる。吸水には時間が かかる。 軽量のため、水やりをするとき浮き上 がる欠点と崩壊性がある。 含有するミネラルはほとんどが 不溶性。	保水性に優れる。軽 量のため、水やりを すると浮き上がる欠 点と崩壊性がある。 含有するミネラルは ほとんどが不溶性。	保水性、透水性に 優れる。 踏圧に対する抵抗 性もある。 含有するミネラル はほとんどが不溶 性。

積極的な発根と土着有用微生物の増加をねらう場合は、姉妹品の「ETC」をお使いください。

SCC GROUP
住友化学 アグログループ



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野1-19-10
TEL. (03) 6740-7777 FAX. (03) 6740-7000